

# 「税務調査」を契機に発覚する 企業不祥事・コンプライアンス違反と予防策

～従業員の偽装・隠ぺい・不正行為による重加算税のリスク等、役員・管理職が知っておくべき「税務コンプライアンス」～

●日 時● 2019年 9月 11日 (水) 10:00 ~ 12:00

●会 場● 東京・麹町『企業研究会 セミナールーム』

## ◆開催にあたって

企業不祥事・コンプライアンス違反が発覚する最も多いきっかけの一つが「税務調査」です。万が一、税務調査によって従業員の偽装・隠ぺい・不正行為が発覚した場合、企業には行政罰（重加算税）が課され、マスコミ報道による企業イメージの低下など、経営に重大なインパクトがあることから、役員・管理職は、普段から「税法とコンプライアンスの関係」をしっかり押さえておく必要があります。本セミナーでは、税務調査の法的根拠、具体的な調査の流れと手法、企業としての対応の心構え等を解説した上で、実際にあった事件（13の事例）を参考に、税務調査において発覚する従業員の不正行為等を、自らなくすために検討すべきポイントを解説していきます。

## ■プログラム

1. 税法とコンプライアンス（法令順守）との関係
2. 税務調査とは
  - (1) 税務調査の概要と法律的根拠
  - (2) 税務調査が入りやすい時期、対象となる会社に見られる8つの傾向
  - (3) 税務調査で課せられるペナルティ（罰則）
  - (4) 調査結果に納得がいけない場合の救済手段
3. 税務調査はどのように行われるのか
  - (1) 準備調査、事前調査、現況調査、帳簿調査、反面調査の特徴
  - (2) 調査の流れと調査手法
  - (3) 税務当局の考え方に対し、反論、交渉する際のポイント（会社の対応方針、取引成立の可否）
4. 重加算税の対象となる行為と経営へのインパクト
  - (1) 重加算税とは
  - (2) 隠蔽・偽装となる場合とは
  - (3) 経営へのインパクト
5. 税務調査を契機に発覚する企業不祥事・コンプライアンス違反と予防策  
～13の事例にみる、税務調査の流れ、発覚の影響と予防策～

※セミナーは、1. 2. 3 は、ポイントを簡潔に解説し、4、5を中心に解説いたします。

■講師 足立 好幸氏 公認会計士・税理士／税理士法人トラスト

【略歴】大手監査法人にて監査・上場支援等に従事した後、税理士法人トラストの設立に参画する。トラストでは、「企業価値向上のための税務」を主業務として上場企業グループに専門・特化。近年では、上場企業グループの「連結納税」「組織再編」「M&A」に多く関与している。著書に、『連結納税採用の有利・不利とシミュレーション』、『M&A・組織再編のスキーム選択』、『グループ法人税制Q&A』（以上、清文社）、『連結納税の欠損金Q&A』、『連結納税の税効果会計』、『連結納税の組織再編税制ケーススタディ』、『連結納税申告書の作り方』、『連結納税導入プロジェクト』（以上、中央経済社）など多数。

## ●受講料●1名（税込み、資料代込）

正会員	22,680円	本体価格 21,000円
一般	25,920円	本体価格 24,000円

- お申込み後（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。
- キャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。
- 催行人数に満たない場合、中止となる場合もあります。
- FAXでお申込の際、「0（ゼロ）発信のFAX機」をご使用の場合は、必ず「0」を押してから、番号入力をお願い致します。（別番号への誤送信にご注意ください。）

一般社団法人企業研究会 担当：福田  
E-mail fukuda@bri.or.jp  
〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2MFPR麹町ビル2F  
TEL 03-5215-3511（代表）

企業研究会セミナー

検索

\*ホームページからのお申込みが便利です。

191043-0206 (※)		2019.09.11	
申込書 「税務調査」を契機とした企業不祥事・コンプライアンス違反と予防策			
会社名	フリガナ		
住所	〒		
TEL		Eメール	
ご氏名	フリガナ	所属 役職	

\*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

\* DMの停止・登録情報変更は、①弊社ホームページ右下「変更フォーム」、または、②専用ダイヤル【03-5215-3512】にてご連絡ください。